



高森町 不動滝

目次

●新型コロナウイルス 感染予防対策について	2~3
●ねっとわーく しばたファミリークリニック 上手に医療機関にかかりましょう	4 5
●寄付のお礼について	4~5
●がん相談支援センターからのお知らせ	6
●話題の広場 ベビー服を新調しました	7
●職場紹介 薬剤部 薬剤科	7
●レントゲン博士の独り言 MRI検査時の疑問点	8
●新任医師の紹介	8
●患者様の声	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さん中心の医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、介護、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくります
- ⑤私たちは、公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意 をもって医療を実践します

⚠️ 新型コロナウイルス

● 感染対策の基本

① 手指の衛生



② マスクの着用
(咳エチケット)



③ 3密の回避

(密閉)



(密集)



(密接)



飯田市立病院では次のような対策をとっています！

1. 手指消毒

正面玄関にアルコール手指消毒剤を設置し、「来院者全員」に手指消毒を行っていただくようにしています。



2. マスクの着用

「来院者全員」にマスクの着用をお願いすることで、感染リスクの低下に努めています。



3. 体温測定

AI 検温システムを導入し、正面玄関設置のカメラの前に立つことで「来院者全員」が自動で検温をできるようにしています。



4. 入館制限と面会禁止

入院患者さんへの感染リスクを極力減らすために、原則、面会禁止とさせていただきます。

院内感染は、入院中やこれから入院を予定される患者さんへの影響もありますし、飯田下伊那地域全体の医療崩壊にもつながりかねません。

このため、入院時にご登録頂いたご家族のみの面会とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。



感染予防対策について

5. 病棟入館者全員の受付

院内感染防止のために、病棟に行かれる方全員に問診を兼ねた受付をお願いしています。県内・地域内の感染拡大状況に応じて、対象者を変更していきます。



6. 入院患者さんの荷物の受け渡し

院内感染防止のために、入院患者さんの荷物の受け渡しを1階で行うことにしています。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



7. 新型コロナウイルス感染症発生レベルと対策表の運用

新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じた対策表を作成し、速やかに対応できるようにしています。

対策表には、出入業者や県外者の入館基準、職員の研修、会食の在り方など様々な項目について規定しており、職員は、これに基づいて対策をとっています。



●基本的な感染対策の重要性とまとめ

5月下旬に緊急事態宣言が解除され、一旦通常どおりの生活に戻れたように思えましたが、7月下旬には、緊急事態宣言中よりも多い新規感染者が発生した都道府県が出るなど、いわゆる「第2波」が到来したともいわれています。

飲食店や施設、学校のサークルにおけるクラスターの発生や、病院での院内感染なども日々報道されており、この地域でも感染拡大が起こらないよう万全の備えをしておかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症は、人々の生活や経済にも大きな影響を与えていますが、基礎疾患を持つ高齢者が重症化しやすいこと、また、症状が出る2日前から感染性があると言われており、感染した自身も気づかず無症状の間に人に感染させてしまうケースもあります。ワクチンによる予防や治療方法が確立していない今、一人一人が確実に感染症予防対策を行う必要があります。

手指衛生やマスクの着用は、感染予防対策の基本として常に啓発されていますが、これまでの皆さんの取組はいかがだったでしょうか。今一度振り返っていただき、3密（密閉・密集・密接）の回避、手指衛生やマスクの着用等、感染予防対策の徹底をお願いします。

ちなみに、県内の今シーズンの季節性インフルエンザや感染性胃腸炎の発生数をまとめたデータによると、例年の同時期に比べ発生数が非常に少なくなっているそうです。

これは、新型コロナウイルス感染症と同じ飛沫や接触によって感染を広げる季節性インフルエンザや感染性胃腸炎の感染も、今回の対策によって大きな影響を受けて減少効果を発揮していると考えられます。



しばたファミリークリニック

(飯田市上郷黒田)



子どもから大人まで地域の皆様のかかりつけ医に

しばたファミリークリニック 院長 柴田 祐充子

私は上郷小学校→高陵中学校→飯田高校と飯田で育ち、2000年に東邦大学を卒業しました。卒業後は大学附属病院、国立東京医療センター、国立成育医療研究センターなど都内を中心に勤務し、前半は成人外科、後半は小児外科を専門にして経験を積んで参りました。2014年に飯田に戻って来た後は飯田病院にお世話になり、外科として一般外科や小児外科、乳腺・内分泌外科に従事する傍ら、フットケア外来を立ち上げ、足で悩む患者さんの診療も行っておりました。

2000年に医師になった私が、2020年の今年、飯田市上郷に地域

に根ざした「しばたファミリークリニック」を開院しました。生まれ育った場所ではありますが、私が子どもの頃は桑畑だった所が今や住宅だらけになっていて、戻ってきた時には驚いたものです。クリニック内はお一人で来られた患者さん用のカウンター席や、お子さん用のキッズスペースを設けております。

私のモットーは、“相談されたらまず自分の目で見る”という事です。当院では、子どもも大人も、男性も女性も、「これって何科にかかればいいのか」と悩んでしまうような患者さんも、まず最初に相談しやすいように門戸を広げ、

地域に根差した医療を行っていきたいと思っております。地域の先生方や病院との連携も大切に致します。

少しでも地域の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思えます。病院の先生方にもお世話になると思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



柴田先生（前列中央）とスタッフの皆様

所在地	〒395-0004 飯田市上郷黒田1636-29
電話番号	0265-48-0454
診療科目	内科、外科、小児外科、皮膚科
診療時間	8:45～12:00 14:30～18:00 (14:30～15:00は完全予約制) 土曜日 8:45～12:00
休診日	水曜日、土曜日午後、日曜日・祝日
駐車場	あり



新型コロナウイルス感染症対策にかかる寄付へのお礼



新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、複数の企業・団体様、個人の皆様方から、当院へ医療物資等のご寄付を多数いただきました。当院へのご配慮をいただいておりますことに、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。ご寄付いただいた医療物資等は、感染予防のために大切に使用させていただきます。

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。



上手に医療機関にかかりましょう

飯田市立病院は飯田下伊那地域の地域医療支援病院です。初診時は地域の医療機関（かかりつけ医）から専門的な治療や検査のために紹介状をいただき、予約を取って受診していただいております。「かかりつけ医」とは、身近でいつでも気軽に相談ができ、日頃の健康管理や生活習慣病を中心に、ライフスタイルの改善指導などをしてくれるお医者さんをいいます。病状に応じて、専門医などに速やかに紹介してくれます。そのため、飯田市立病院は「かかりつけ医」としての機能や役割は持っていません。そのため当院の治療が一段落したところで、かかりつけの先生と連携して治療の継続をしていただきます。上手に医療機関を活用するために、今日からあなたも、信頼できる身近な「かかりつけ医」を持ちましょう。

日頃の健康管理は「かかりつけ医」へ

風邪などの初期症状や、病気かな？と気になることがあれば、先ずはお近くの「かかりつけ医」で診てもらいましょう。

- 受診手続きが簡単で、仕事帰りや土曜日なども診てもらえます。
- 病歴・健康状態・体質など、継続的な記録があるため適切な対応をしてもらえます。
- 健康診断結果などを報告すれば、生活習慣改善のポイントなどのアドバイスをしてくれます。
- 精密検査や高度な医療が必要なときには、専門医を紹介してもらえます。

飯田市立病院への初診は「紹介状」をご持参下さい

飯田市立病院での治療が必要な場合は、「かかりつけ医」からの紹介状を持参してください。

症状が安定したら「かかりつけ医」へご紹介（逆紹介）します

飯田市立病院での治療が一旦終了し、症状が安定しましたら「かかりつけ医」に再び通院いただくためにご紹介（逆紹介）いたします。

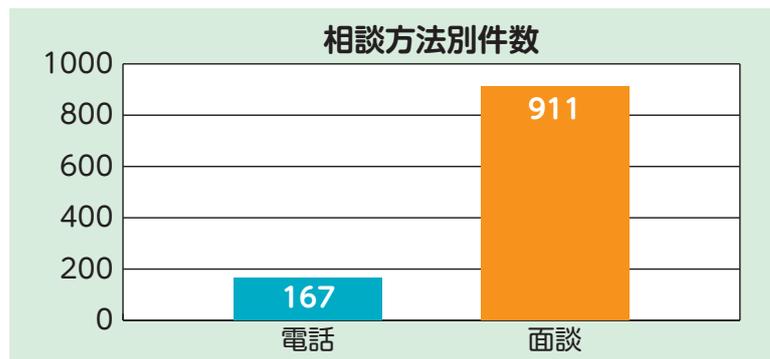
について

依然として緊張状態が続く医療現場のスタッフにとって、地域の皆さまからの温かいご支援、ご声援が何よりの励みになっております。これからも全職員が一丸となり、安心・安全な医療を提供できるよう、努めてまいります。

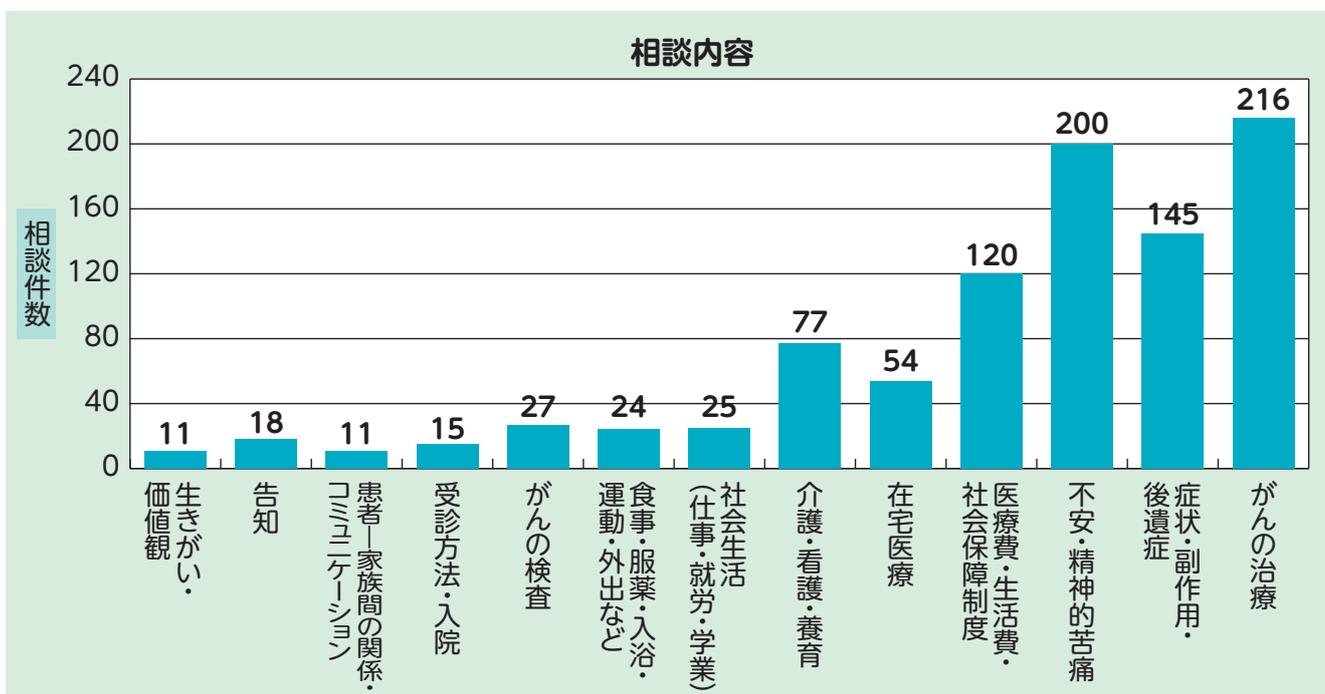


がん相談支援センター からの お知らせ

がん相談支援センターでは、がんに関する様々なご相談に対応しています。昨年度（2019年4月～2020年3月）のがん相談支援センターを利用された相談件数は1,078件でした。



直接お会いして面談することが多いですが、電話相談も行っています。相談者はご本人やご家族、他院にかかられている方や匿名でのご相談も承っています。



がんと告知された時、「今後の治療方針」「抗がん剤治療の副作用や対処法」「治療にかかるお金のこと」等、不安や疑問が出てくるのではないのでしょうか。

がん相談支援センターへの相談内容は、「がんの治療」「不安・精神的な苦痛」「症状・副作用等」「医療・生活費」についてのご相談を多くいただきます。

治療を行うことで、これまでの日常生活に変化が生じ、家族との生活や育児・介護の不安を抱えている患者さんもいらっしゃいます。

新型コロナウイルス感染症への不安から、治療の開始や継続に不安がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ご自身で判断をされずに、担当医とご相談をいただくことが大切です。また、当院の「がんサロン結（ゆい）」も再開に向けて準備中です。

1人でお悩みになることがないようにお気軽にがん相談支援センターをご利用ください。相談は無料、秘密は厳守させていただきます。

《がん相談支援センター 相談対応時間》

- 時間▶ 平日 8:30～17:15
- 直通電話▶ ☎ 0265-21-2010
- 場所▶ 130 がん診療・緩和ケアセンター内



ベビー服を新調しました

令和2年6月1日から、周産期センター西病棟で使用しているベビー服を新調しました。

新しいベビー服は3種類の柄をご用意させていただき、前面には“IMH”“IIDA MUNICIPAL HOSPITAL”の刺繍が入り、可愛く、肌触りもよく、優しいデザインに仕上がっています。

また、これまでのベビー服は純和式の紐タイプだったこともあり縛るのが手間でしたが、ボタンタイプに変わったことで、縛る手間が省け、使いやすくなったとお母さん方からも上々の評判をいただいております。



シリーズ ● 職場紹介 ● その65

【薬剤部 薬剤科の紹介】

「診療技術部薬剤科」は令和2年4月より「薬剤部」へ組織変更し、新たにスタートしました。患者さんの立場に立って、チーム医療における薬剤師の役割を果たすこと、そして「医薬品の適正使用」を念頭において取り組んでいます。

業務内容は調剤部門、注射部門、がん化学療法部門、病棟薬剤業務を中心とし、患者サポートセンター、治験、専門チームでの活動など、多岐に携わっています。患者さんとのコミュニケーションを大切にしながら、薬の専門家として、患者さんの治療に貢献すべく、認定資格（がん、緩和、感染、妊婦授乳婦、小児、糖尿病等）を取得し、さらに専門性をもって活動しています。

この夏、病院薬剤師が主人公の医療ドラマがスタートします。知られざる病院薬剤師の裏舞台が描かれています。医師のように頼られない、看護師のように親しまれなくても薬剤師を少しでも身近に感じていただき、病棟などで見かけた際には、お気軽にご相談ください。





MRI 検査時の疑問点

MRI 検査時の疑問点についてお答えします。

- Q. MRI 検査時に『カラーコンタクトレンズを使用していませんか?』と聞かれたんだけど?
- A. カラーコンタクトレンズの染料には酸化鉄等の金属が含まれている場合があり、検査時に眼球へ悪影響を及ぼす可能性があります。



Q. 普段使用しているコンタクトレンズは安全なの?

- A. コンタクトレンズの説明書を確認すると「MRI 検査を受ける際にはレンズを外すこと」と書いてあります。記載があった場合は、そのコンタクトレンズは外し、別のコンタクトレンズ又は眼鏡の着用をお願いします。

Q. 刺青(タトゥー)の染料も注意する必要があると聞いたんだけど?

- A. 刺青(タトゥー)の染料にも金属成分が使用されている場合があり、変色や火傷の事例も報告されています。



レントゲン博士からのお願い

MRI 検査時には、検査室に持ち込みができない物が多数あります。

そのため、安全に検査が行えるよう、担当医師とよく相談し、担当技師の問診にご協力をお願いします。

新任医師の紹介

令和2年4月2日～7月



新生児科

嶋田 和浩

(しまだ かずひろ)

平成18年卒業

令和2年6月1日着任

前勤務病院

福岡新水巻病院



眼科

城山 彰太

(しろやま しょうた)

平成28年卒業

令和2年6月1日着任

前勤務病院

中京病院



整形外科

笹尾 真司

(ささお しんじ)

平成26年卒業

令和2年7月1日着任

前勤務病院

長野県立信州医療センター



整形外科

小田切 優也

(おたぎり ゆうや)

平成29年卒業

令和2年7月1日着任

前勤務病院

信州大学医学部附属病院

患者様の声

当院のご意見箱に頂戴した内容をご紹介します

Q 各種診断書の作成が遅いです。

- A 各種診断書につきましては、診断書記載申込みから種類完成までに一律に3週間の作成期間をいただいております。この作成期間中に主治医により書類が作成されますが、常勤医師に加えて非常勤医師(1～2週間に一度の勤務医師等)も勤務する中で、診察の合間の僅かな時間で申込みの順番に書類を作成しているのが現状であります。

ただし、本年2月からは診断書の交付を、従来の3週間後の来院方式から、郵送方式に変更し、完成した書類は随時発送いたしております。少しでも早く患者様のお手元へ届けられるように今後も検討を重ねてまいりますのでよろしくお願ひします。

～皆様からのご意見を真摯に受け止め改善に努めます～

あ と が き

新型コロナウイルス感染症の対策が長期化するなか、スポーツ界は無観客での開催、大物歌手は無観客ライブをウェブ配信、夏の風物詩打ち上げ花火は規模を縮小し無集客での打ち上げ等、新しい生活様式とともに、様々な試みが始まっています。

このあしがきを、みなさまが目にする頃は、世の中にはどのような変化が起きているのでしょうか。 編集委員 今村文勇

近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。